



令和4年1月26日発行

ささえあい

志布志市社会福祉協議会 第89号

おやっとさーびす・サロン交流会

『コロナ禍でも
コロナ禍でなくても大切なこと』

有明町原田地区
供養松サロン代表
牧山 啓子氏



『いつも“心”は“密”にして』

志布志町安楽地区
おやっとさーびす活動員
樫山 ひとみ氏



『新橋地区の
見守り活動について』

松山町新橋地区
民生委員児童委員
川上 豊氏



令和3年12月15日(水)におやっとさーびす(住民参加型在宅福祉サービス)事業とふれあいいきいきサロンで携わっている方々の交流会がありました。

事例発表では、それぞれの団体や所属においての地域福祉活動の事例を紹介され、地域福祉の推進における“ヒント”となり、今後の活動の参考になったことと思います。今後、有明町と松山町でも交流会を実施予定です。



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金の一部により発行されています。

新春に想ふ



志布志市
社会福祉協議会
会長
溝口 敏久

皆様方におかれましては、お健やかに輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

昨年も前年同様、新型コロナウイルスによって世界中が多くの国難に見舞われました。本市においても、地域福祉推進大会や様々な各種催し等が新型コロナウイルス蔓延防止の観点から、開催自粛となる年でした。

さて、社会福祉を取り巻く環境は、少子高齢化の急速な進展や核家族化の進行による家族形態の変容に加え、近年は貧困や孤立死、引きこもり、消費者被害など新たな生活課題が深刻化しており、福祉に対するニーズは年々複雑多様化の傾向にあります。

このような福祉環境の変化は、本市にも少なからず影響を及ぼしており、支援の必要な高齢者、また障がい者や子育て家庭などの生活を支援するとともに、社

会参加や生きがいづくり、健康づくりなど、福祉の実を一層図っていきたいと考えております。

そのためには、行政の公的施策とともに、地域福祉の推進役として市社会福祉協議会は、住民福祉の向上のために役職員一丸となつて鋭意努力してまいります。市民の皆様のご協力をお願いいたします。

令和四年は壬寅（みずのえ・とら）で、寅年（とらどし）は「陽氣を孕（はら）み、春の胎動（たいどう）を助く」冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるといわれています。

また、「春の胎動が大きく花開く」ためには、地道な自分磨きを行い、実力を養う必要があるといったことをしめしています。

それにあやかり、志布志市社会福祉協議会の理念であります『共にささえあい笑がおで暮らせる地域をめざして』その実現を目指して、新たな気持ちでスタートしていく所存です。

寅の年が、皆でコロナを克服し、皆様方にとって希望に満ちた良い年でありますことをご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

有明地区

町内に子どもいない75歳以上の一人暮らし高齢者等216名を対象に、有明地区民生委員児童委員協議会とボランティア「なかよし」により、12月23日にだし作り、24日にそば作りを行い、安否確認も兼ねて年越しそばをお届けされました。



松山地区

11月19日、ボランティア団体である「泰野な花グループ」が見守り活動を兼ねてふくれ菓子とおこわを作り、配布しました。

一人暮らし高齢者及び高齢者夫婦へ届けるこのイベントは、「地域のつながりを大事にしたい」という想いでコロナ禍でも続けています。

地域の方もまた、このイベントを毎年楽しみにされていらつしゃいます。イベントが実施できるたび、誰かの笑顔がこぼれるたび、何気ない日常が一番尊いものだと気づかされます。



安楽しあわせお助け隊

西 光子
私たち「安楽しあわせ手伝い隊」は、社協でボランティア研修を受けた安楽地区の10名からなる地域ボランティアグループです。私たちの主な活動内容は

- ・移動販売買物支援
- ・困りごとのお手伝い（ゴミ分別・部屋の清掃、他）
- ・安楽サロンのお手伝い
- ・高齢者見守り・年末訪問です。

地域にお店が無くなり、日々の買い物に困っている方々から、毎回「助かつとなー」と喜んで頂いています。また、年末には90才以上の高齢者宅を訪問していますが、近所の顔見知りということもあり、話も弾み、困りごとをお受けすることもあります。

これからも、地域の皆さんが安心して生活できるようにお手伝いしていきたいと思っています。



ふれあいボランティア活動

小・中高生がボランティア活動や地域活動を行った時に、「ふれあいボランティア活動」に押印をもらい、ポイントをためていく活動です。
※令和3年11月～12月末までに認定した方を掲載しています。



もりやましょうがっこう
森山小学校 6年
たなか はるか
田中 遥さん

☆
40ポイント達成
★プラチナクラス★



うるがのしょうがっこう
潤ヶ野小学校 2年
ひぐち せおり
樋口 瀬織さん

☆
70ポイント達成
★達人クラス★



しぶしゅうがっこう
志布志中学校 2年
つじ はるの
辻 春乃さん



たのうしょうがっこう
田之浦小学校 5年
つじ ゆうたろう
辻 佑太郎さん

☆
100ポイント達成
★マスタークラス★



うるがのしょうがっこう
潤ヶ野小学校 2年
にしやま じゅん
西山 潤さん

☆
190ポイント達成
★マスタークラス★



たのうしょうがっこう
田之浦小学校 4年
にしだ けん
西田 謙斗さん



たのうしょうがっこう
田之浦小学校 3年
あずま さき
東 咲希さん



たのうしょうがっこう
田之浦小学校 6年
うめざわ こうた
梅沢 康太さん



たのうしょうがっこう
田之浦小学校 6年
かわの りあ
川野 莉愛さん



たのうしょうがっこう
田之浦小学校 6年
うえやま ひなた
上山 日向さん



たのうしょうがっこう
田之浦小学校 3年
にし うら
西 麗晶さん

☆
30ポイント達成
★パールクラス★



もりやましょうがっこう
森山小学校 2年
とくしげ るい
徳重 瑠威さん



もりやましょうがっこう
森山小学校 1年
いちぎ ひより
一木 妃由利さん



ありあけしょうがっこう
有明小学校 6年
かみむら ゆうな
上村 優奈さん

☆
20ポイント達成
★ゴールドクラス★



もりやましょうがっこう
森山小学校 4年
きたいのう えい
北井上 誠太さん



たのうしょうがっこう
田之浦小学校 4年
かわの あれん
川野 歩蓮さん

☆
30ポイント達成
★パールクラス★



たのうしょうがっこう
田之浦小学校 1年
いりべ ゆうの
入部 優乃さん



たのうしょうがっこう
田之浦小学校 1年
かわごえ そら
川越 陽空さん



たのうしょうがっこう
田之浦小学校 1年
やまなか せな
山中 星南さん



かつきしょうがっこう
香月小学校 2年
やまのうち あいり
山之内 愛璃さん



たのうしょうがっこう
田之浦小学校 4年
かわの ひなた
川野 陽那多さん



たのうしょうがっこう
田之浦小学校 4年
さきだ こうき
崎田 凰希さん

☆
10ポイント達成
★シルバークラス★



かつきしょうがっこう
香月小学校 1年
さきもと こな
崎元 心花さん



もりやましょうがっこう
森山小学校 4年
いそひら とあ
磯平 朋愛さん



もりやましょうがっこう
森山小学校 4年
たなか りな
田中 莉奈さん



うるがのしょうがっこう
潤ヶ野小学校 1年
あかまつ みゆ
赤松 美幸さん



たのうしょうがっこう
田之浦小学校 2年
さきだ ゆうま
崎田 夕真さん



たのうしょうがっこう
田之浦小学校 1年
ふくだ ふうま
福田 楓磨さん

☆
10ポイント達成
★シルバークラス★

※お詫びと訂正

ささえあい第88号ふれあいボランティア活動にて、田之浦小学校4年 山中徠夢さんをシルバークラス10ポイントと掲載しましたが、正しくは、パールクラス30ポイント達成でした。訂正してお詫び致します。



令和3年度

赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました

令和3年度 共同募金 実績報告

皆様の善意に
感謝いたします

敬称略・順不同にて掲載しております。

赤い羽根一般募金

街頭募金

志布志地区

- ・ナフコ志布志店
- ・サンキュー西志布志店
- ・生協コープかごしま志布志店
- ・サンポートしゅしアピア

有明地区

- ・Aコープあおぞら店

松山地区

- ・志布志漁業協同組合
- ・東京堂
- ・みんなの樹
- ・ホテル志布志（募金箱）
- ・マルチヨラメン志布志本店（募金箱）
- ・サンポートしゅしアピア（募金箱）
- ・サンイレブン志布志大原店（募金箱）
- ・サンイレブン志布志町安楽店（募金箱）
- ・ローソン志布志安楽店（募金箱）

有明地区

- ・志布志小学校
- ・森山小学校
- ・志布志中学校
- ・尚志館高等学校
- ・松山地区
- ・尾野見小学校
- ・松山小学校
- ・泰野小学校
- ・松山中学校
- ・有明地区
- ・伊崎田小学校
- ・野神小学校
- ・原田小学校
- ・有明小学校
- ・山重小学校
- ・通山小学校
- ・蓬原小学校
- ・宇都中学校
- ・有明中学校
- ・伊崎田中学校

個人募金

志布志地区

- ・仲澤邦治
- ・匿名

計 14,062円

その他の募金

志布志地区

- ・市役所本庁（募金箱）
- ・健康ふれあいプラザ（募金箱）
- ・松山地区
- ・市役所松山庁舎（募金箱）
- ・社会福祉協議会松山支所（募金箱）
- ・有明地区
- ・市役所有明庁舎（募金箱）
- ・社会福祉協議会有明支所（募金箱）

計 41,684円





法人募金

志布志地区

- ・しづし整骨院
- ・アマミズ葬祭
- ・ケーキハウスカネヤマ
- ・久保田自動車
- ・(有)ミヤウチ
- ・(有)うえはら電器
- ・DONUT
- ・和田ガラス
- ・志布志大原簡易郵便局
- ・(有)アランドエフスクシブグリーン
- ・かごしま屋志布志店
- ・提水産(有)
- ・大成ホーム
- ・水間釣具店
- ・竹田水産
- ・I-MAGE de Beaux Cheveux
- ・シヨッピンングセンター内山
- ・(株)脇岡
- ・プチ・レストラン吉亭
- ・井や和華
- ・春日歯科医院
- ・鹿児島興業信用組合志布志支店
- ・大田食堂
- ・(株)志布志新生社印刷
- ・ふらわあーギャラリーやまだ

- ・四季彩館ほりぐち志布志店
- ・ミネサキ有明店

計 66,240円

学校募金

志布志地区

- ・特別養護老人ホーム小松の里
- ・(有)有伸塗料商会
- ・福岡精米所
- ・鍋山自動車整備工場
- ・シヨッピンング橋口
- ・味のヤマヒロ亭
- ・山中水道建設
- ・いいやま歯科
- ・堀苑自動車整備工場
- ・(有)藤崎自動車
- ・四季彩館ほりぐち志布志店
- ・さめしま歯科
- ・(有)カーセンター大隅
- ・かすが歯科
- ・(有)宝満自動車
- ・医療法人参照会みやびクリニック
- ・スーパーめきこニックス店(募金箱)
- ・ヘアーサロンケンジ
- ・ミネサキ有明店
- ・Aコープあおぞら店
- ・コバルト技建
- ・蓬の郷(募金箱)
- ・サンイレブ有明伊崎店(募金箱)

計 310,646円

職域募金

志布志地区

- ・志布志地区民生委員児童委員協議会
- ・特別養護老人ホーム賀寿園
- ・志布志市商工会青年部

計 180,980円

松山地区

- ・松山地区民生委員児童委員協議会
- ・市役所松山支所
- ・社会福祉法人松山やつちく会

有明地区

- ・有明地区民生委員児童委員協議会

計 175,036円

イベント募金

志布志地区

- ・志布志市グラウンド・ゴルフ協会
- ・チャリティグラウンド・ゴルフ大会
- ・歳末チャリティグラウンド・ゴルフ大会
- ・森山公民館・森山小PTA
- ・森山マルシェ

松山地区

- ・志布志市老人クラブ連合会

有明地区

- ・志布志市ゲートボール協会
- ・チャリティゲートボール大会

計 224,006円

歳末たすけあい募金

志布志地区

- ・志布志町更生保護女性会
- ・仲澤邦治
- ・匿名

計 10,200円

戸別募金

一般募金

- ・一般募金
- 6,133戸
- 4,738,050円
- ・歳末たすけあい募金
- 6,506戸
- 1,317,600円

募金総額 6,055,650円

令和三年度の赤い羽根共同募金へのご協力、ありがとうございました。皆様のおかげをもちましてたくさんのお金が集まりました。集まりました募金は募金された地域や県内各地で様々な活動に活かされています。また、災害時には共同募金会からのお見舞金等としても活用されています。これからもご協力をよろしくお願いいたします。

第16回 志布志市 福祉作文コンクール 最優秀賞作品紹介

最優秀賞

小学生下学年の部



志布志市立志布志小学校 3年 田之浦 希さん
最優秀賞



「車いすが教えてくれた」

「車いすに乗ってなら買い物ができるよ。」

母の一言ではじまりました。しかし、わたしは、生まれてからずっと心ぞうびょうです。みんなと同じように長いきよりを走ったり、はげしい運動をしたりできません。

三年生になったはじめのころ、あまり具合がよくなくて、長く歩くと息がくなく、長くなってしまいました。それが下がってしまいました。それでも、わたしは、「足をけがしているわけじゃないから、車いすではなく、自分

の足で歩きたい。」と心の中でさけびそうでした。でも、体を守るために、わたしは、はじめて車いすに乗ることにしました。はじめて車いすに乗って買い物をするので、多くのことを学びました。

まず、よかったことが二つあります。一つ目は、車いすがわたしの足のかわりをしてくれるので、体がきつくならないことです。心ぞうにふたんがかからないので、いつもよりゆっくり遠くのところまでお店の中を見ることができたからです。二つ目は、母が近くにいることで安心できることです。母は、後ろから車いすをおしてくれます。話すときは、後ろから耳元にゆっくり話してくれれます。わたしが話すと、顔を近づけてくれるので、いつもより近くで母とたくさんのお話をし、楽しく商品を選べることができました。

次に、大へんだったところが二つあります。一つ目は、車いすでは、せまい所に入れなかったり、上にあつた商品を自分ではとれなかったりしたことです。上にある商品がほしくてもとれないというかなしさがありました。二つ目は、かごをおく場所にこまつたことです。かごをひざにおいたから足がいたくなり、足おきにかごを乗せたら落ちてしまいました。わたしは、「車いすで買い物をするのは、とても大へんなことなんだ。」と思いました。また、「たくさん買い物はできないな。」とも思いました。

車いすでの買い物をするのは、人をして、一番に思ったことは、「こわかった。」ということでした。それは、車いすに乗っているとほかのお客さんが持っているかごや手がわたしの顔に当たりそうになつてしまふからです。お客さんとすれちがうたびにひやひやしました。

そして、これまでをふりかえつてみました。わたしたちは、いつも歩いて買い物をしていました。それが当たり前のことでした。わたしは、「車いすの人になつて、かわいさをさせていなかたかな。」と思いかえしました。そして、「みんなが思いやりの心をもてば、車いす

の人がもつと安心して買物ができる。」と思いました。これから、買い物でこまつている車いすの人がいたら、しゃがんで、「大じょうぶですか。とりましようか。」と声をかけたいと思います。母がはじめて乗せてくれた車いすでの買い物を通して、大切なことを学んだ気がします。

「教えてくれてありがとう。」

最優秀賞

小学生上学年の部



志布志市立志布志小学校 4年 安楽 峰松 華さん
最優秀賞



「みんなの安心・安全のために」

わたしは、三年生のころ、バリアフリーについて調べた。祖父が病気で車いすに乗っていて、段差のあるところを移動したり、ベッドにうつたりする時にとても大変そうだなと思つたからだ。調べてみると、町の

中では、車いすの人が生活しやすい工夫がたくさんあることが分かつた。四年生になつて、学校で福祉について調べる学習が始まつた。いろいろな本を見て、いろいろなことに、ユニバーサルデザインについてきょう味をもつようになった。なぜなら、バリアフリーとて、いるなと思つたからだ。でも、調べていくうちに、この二つは、ちがうことが分かつた。バリアフリーは、しょうがいをもつて、人やお年よりのことを考えて作られている。一方、ユニバーサルデザインは、全ての人を利用しやすいということを考えて作られている。ここが大きなちがいだ。その中でも、学校の中のユニバーサルデザインについて、くわしく調べることにした。まず黒板だ。教室の黒板の上や横の部分がすっきりしている。何もはついてなくて、黒板がとも見やすい。こうすることで、まわりのことを気にせず、集中がしやすくなる。

次に本だ。例えば、図書室の絵本コーナーのたなは、低く作つてある。こ

うすることで、低学年や背の低い人でも本を手に取りやすくなる。もし本だなが全部同じ高さだつたら、読みたい本があつても、自分

だけでは、取りにくくなってしまふ。

学校の中には、まだまだたくさんユニバーサルデザインのものがある。保健室の入り口の戸には、「先生が今どこにいるか」が一目見るだけで分かるカードがはつてある。こうすることでも、もしけがをした人がいても、「保健室に先生がいな

い。どうしよう。」ということにならずに、先生に知らせることができて安心だ。はきもののマークもいろいろな場所にある。このマークの上にぬいだはきものを置くことで、ばらばらにならずにきちんと並べておくことができる。どれが自分のものか分からないということもなくなると思う。私たちの学校のろうかには、かめさんのイラストがはつてあるペットボトルが、通路の真ん中においてある。ろうかを走ることを防くれた。

「ゆつくり…」というメッセージを伝えてくれるのかめさんのおかげで、ろうかは、静かに歩こう、という気持ちをもてる。

このように、学校にも多くのユニバーサルデザインがあることが分かった。いつもは何も考えずに過ごしていたけれど、調べてみると、みんなが学校生活を送

りやすくなっていることが分かった。これらのものがあるおかげで、安全にもつながっている。だれもが安心・安全に生活できるための大切なデザイン。まだまだ調べてみたい。こんなものがあつたらいいな、と考えてみるのも楽しそうだ。

最優秀賞

中学校の部



志布志市立
伊崎田中学校 3年
かみむら たいげん
上村 大元さん



「高齢化社会を突き進む」介護福祉士

現在、世界が抱えている問題には、地球温暖化・人口増加・人権差別・少子高齢化などがあります。その中でも、日本は少子高齢化が大きな問題となつていま

す。少子高齢化とは、医療の発達によって、病氣などをもつ高齢者の寿命が伸び、若い世代の人よりも、高世

代の人が増えていくことです。そんな中、高齢化社会に寄り添う職の一つとして、介護福祉士があります。

僕の母は、介護福祉士をしています。毎日、勤務先の高齢者施設に通い、高齢者の介護をしています。お風呂の介助、レクリエーション、送迎など、体力的に疲れる部分もかなりあると思いますが、家ではたまに、その日にあつた出来事や、患者さんの話をします。

話は変わりますが、僕が小学一年生のとき、祖母が足の手術をしました。そのため、祖母が乗る車いすを僕が押すこともありました。当時は、車いすに触れる経験がなかったので、押すのが楽しく、祖母が乗っているのに、走ることがありました。でも、それが実は恐ろしいことだったと知った出来事がありました。

二年前、入学してすぐに行われた福祉体験学習です。実際に、高齢者施設に訪問し、介護の体験をしました。その際、車いすの扱い方を体験する時間がありました。押すとき、止まるときは声をかける。乗る人が怖くならないように、適切なスピードで押す。教えていただいたことを頭に入れないながら行くと、しつかり操作することができました。他にも、

患者さんと目線を合わせて話す、口調を柔らかくするなど、患者さんが安心できるように工夫が徹底されていました。思い返せば、祖母の車いすを押すとき、僕は声もかけず、祖母の気持ちも考えていませんでした。これがもし、祖母よりも高齢で、体の不自由な人だったら…。その人は、とても恐怖を感じたでしょう。そんな後悔を感じるとともに、介護の温かみを感じることもできました。事前に教えてもらったことを胸に、座っていた高齢者の方に声をかけました。

「伊崎田中学校から、福祉体験で来ました。よろしくお願ひします。」
と言うと、
「そうなんだ。よろしく。頑張つて。」と返してくださいました。その優しい声に、緊張もほぐれ、頑張ろうという励みになりました。とても意味のある、充実した体験となりました。

しかし、そんな介護福祉士という仕事にも問題があります。介護福祉士の人手不足や、A Iロボットに仕事を取られるかもしれないという問題です。僕は、A Iロボットが高齢者の介護をするのに対して批判的

に見えています。その理由は、人間ではないというこ

とです。介護をする人が人間だからこそ、会話ができて、患者さんが安心できる工夫を徹底し、それによって、介護福祉士という仕事が成り立っていると思うのです。そして、人間だからこそ、僕のように、介護の温かみを感じられ、それをいろいろな人が体験することで、介護に興味をもつ人も増え、人手不足も解消されると思います。

僕は、母がたまに話す、施設での出来事に対して、「ふーん。」や、「へえ。」など、その話に興味がないような答えを返していました。しかし、その話をしっかりと聞いてみることでこれから高齢者と接する機会に生かせることもあるかもしれないと思ひました。

例えば、高齢者の方に席を譲る。重い荷物を持つていたら代わつてあげる。こんななにげない思いやりも、高齢者にとっては、助けであり、安心して生活できる心の支えとなります。そして、世界中がそうなっています。僕は、今自分にできることをして、高齢者に寄り添い、高齢化社会を生きていきたいです。

※原文のまま掲載しております。

皆様の善意に
感謝いたします

香典返し寄附金

次の方々より香典返しのお礼にかえて市社会福祉協議会にご寄附をいただきました。
ここに謹んでお悔やみ申し上げ故人のご冥福をお祈り申し上げます。いただきましたご寄附は、志布志市の地域福祉向上のために有意義に活用させていただきます。
(令和3年10月1日から
令和3年12月31日まで)

自治会名 寄附者名 物故者名
(敬称略)

志布志地区
柳 山下英文 故アヤ子
下宮内 豊留百合子 故勝
興和 切手安文 故カスミ
坂之上 谷口博盛 故町子
町原 川崎ハツエ 故巖
宮地 堂園京子 故喜義
北大原 中野純一郎 故榮子
大性院 篠原サエ 故昌明
東横尾 前田勝浩 故久男
大原 加治米エリ子 故吉春
一丁田 一木エツ子 故弘文
上昭和一 切手藤子 故純一
坂之上 川野美知子 故矢野和夫
下西 山中正品 故正命
松波 長野延子 故芳照
平城 加塩忠信 故美津子
毛地 武石芳子 故キヨカ
平野 井手美津子 故鉄次
一丁門 安崎和子 故久則
上野 河野辰男 故亮
安良 松崎陽子 故ハス子
中學校通り 原ツヤ子 故司

有明地区

中丸順一 故南兵衛
中頭方限 東條浩二 故詔子
高下谷 高迫照美 故クニヨ
本限 濱崎弥生 故義文
中平 立山敦子 故ナミエ
東大久保 田浦順一 故ユリ子
押切野 苑田勝文 故文徳
下平野 川添敏美 故トシ
立本 新原サダ子 故ナミ
東本 竹安重幸 故ツユ
本村 廣地義治 故鎌田スミエ
東原 金光明 故哲郎
上肆部合 池田香織 故幸子
伊崎中野 小牧賞三 故ミチエ
黒葛 緒形次盛 故安美
松山地区
野久尾 吉原 清美 故安美

篤志寄附金

次の事業所・団体・個人の方々より市社会福祉協議会にご寄附をいただきました。
地域福祉向上のため、有意義に活用させていただきます。
ありがとうございます。
(令和3年10月1日から
令和3年12月31日まで)

志布志地区受付
(敬称略)

・北大原 中山君子
・(株)森元クリーン
83,995円

物品寄附

(令和3年10月1日から
令和3年12月31日まで)

志布志地区受付
(敬称略)

・有馬四郎 車いす 1台

有明地区受付
・片平 吉坂昭寿 布団



<物品寄附>
有馬 四郎様

令和3年7月大雨災害義援金

(令和3年10月1日から
令和3年12月31日受付分)
(敬称略)

志布志地区受付
(敬称略)

・志布志市役所本庁舎義援金箱
・ブラザ義援金箱

(令和3年7月9日)

令和3年12月31日受付分

これまでの合計金額
5,062円

生活福祉資金(教育支援資金、就学支度費)貸付制度のご案内

低所得世帯へ下記により貸し付ける資金で、受付期間は2月から4月までです。

資金名	資金の種別	資金の用途	資金限度額	貸付条件 据置期間	貸付金 利子
教育支援資金	教育支援費	入学後に必要となる授業料、交通費、寮費など分割納入するもの	〈高校〉月額 3.5万円以内 〈高専〉月額 6万円以内 〈短大〉月額 6万円以内 〈大学〉月額 6.5万円以内	卒業後 6か月以内	無利子
	就学支度費	入学に際し必要な経費(入学金、制服、靴、体育着等で学校指定により入学時に購入するもの等)	50万円以内		

※借入申込みに際し留意事項がございます。
詳しくは472-1800(地域福祉係)まで問合せください。